



2026.7.31

船長よりファンド仲間の皆さまへ

代表取締役社長 澤上 龍

今月は下落が続く相場展開となりました。「なぜ下がったのか？」と聞かれれば、「逆に何故これほどまでに騰がったのか？」と問い返すのが適切に思えます。そのような中で、皆さまのさわかみファンドは日経平均株価と比べて相対有利な展開となりました。株価や成績を1ヶ月単位で評することは長期投資家にとってあまり大きな意味を成しません、しかしながら目論見に近い展開になったことは嬉しく感じております。

さて、全国セミナーのお話です。以前より私は、実は名前を伏せて高頻度で当社セミナーに出席しておりましたが(前に立つかは状況次第/多くの方にうちの社員を知っていただきたいという想い)、本年4月からは登壇するものについては名を記載するよう変更しました。それゆえか、事前準備されたと思われるご質問をいただくこともあります。そして傾向として多いのが「社長に聞きたい、いま一番気にしている指標は？」です。

答えは以前から変わらず“金利”です。今後も各方面へ影響を与える要素として注視を続けつつ、“上”を前提に思考を巡らせてまいります。善し悪しではなく自然の摂理……個人・法人にかかわらず、様々な状況、景色が変わってくるかもしれませんね。

今月の航海日誌

取締役最高投資責任者 黒島 光昭

皆さまのさわかみファンドは乱高下の市況の中を焦らず細心の注意を払い航海しています。基準価額は先月末比-2.8%で50,000円付近を前後しています。一部のAI・半導体関連企業の株価の影響で日経平均の変動はジェットコースター並みです。似たような変動は本年の2月~3月でも見られ、米国のイラン攻撃→原油価格上昇→インフレ下の景気後退懸念での下落という状況でした。マーケットエッセンシャル社のレポートで、3月末で損益がプラスになっている顧客の割合を示す指標(主要投信販売会社18社分、80.8~98.5%)が集約されていました。当社(非公表)の成績は98.5%で首位と同等でした。今回の大きな変動に際しても、お客様のご資産をしっかりと守りしながら、市況の過熱感に隠れて将来価値を見逃されている企業を的確に拾っていく姿勢は不変です。

金融庁よりコーポレートガバナンス・コード改定版が公表され(7/21)、改定の留意点は①成長投資の促進、②取締役会の機能強化、③有価証券報告書の定時株主総会前の開示とのこと。①、②に関して組入企業の役員と近々に直接対話し、未来価値創造のパートナーとして何ができるか深掘りしていきます。三人四脚のさわかみファンドの進化にご期待ください。(7月29日)

※さわかみファンドにおけるリスク・手数料については、ページ⑥に記載の「ご留意事項」をご覧ください。

ファンド情報

2026年7月30日現在

顧客数(直販分)

138,853名(直近1か月 +581名)

定期定額購入 契約数

31,422名(全体比22.6%)

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日 2026 年
(金額変更・中止) 8月19日(水)

振替日 2026 年
(引落日) 9月1日(火)

約定日 2026 年
(買付日) 9月9日(水)

約定日(買付日)とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります)

お知らせ

「さわかみファンド」
運用報告会 2026

2026
9.12(土) 10:00 - 16:00
博多国際展示場 &
カンファレンスセンター

お申込み受付中!

さわかみ投信だからこそできる、長期投資の魅力を目で見て体感できる機会です。ぜひお越しください!

参加申込みはこちら

事前申込み制 参加無料

www.sawakami.co.jp/uh2026/



ご不明点は、お気軽にお問合せください。

☎ ご縁の窓口 03-6706-4789